習志野市新市庁舎建設基本理念・基本方針の概念図(基本構想案)

基本理念 基本方針 【新庁舎建設に向け て想定される機能】 【市民サービスの向上につながる庁舎】 市民 協働の 拠点 ●市民に開かれた親しまれる庁舎 ●多世代に利便性の高い庁舎 ●分散庁舎機能の統合 市民活動の拠点 市民に 開かれ た議会 となる庁舎 【情報化への配慮】 適切な 駐車場 駐輪場 ●高度情報化に対応できる庁舎 ●情報セキュリティの強化と緊急時への対策 市民に 便利で わかりや すい ●職員が市民へ円滑に情報提供できる庁舎 街づ 【耐震性や非常時に耐える庁舎】 ●防災拠点としての庁舎 市民を守る ●市民の安全・安心を支える庁舎 庁舎 ●耐震性・耐久性を高めた庁舎 ●セキュリティを高めた庁舎 の 防災 拠点 中 【経済性とのバランスがとれたコンパクトな庁舎】 ●維持管理費の削減 経済的で合理的 ●長寿命化を考慮した庁舎 ●合理的な機能を持つ庁舎 なスリムな庁舎 となる市 【ユニバーサルデザインに配慮した庁舎】 ●誰もが分かりやすく利用しやすい庁舎 ●バリアフリーの徹底 ●効率的で働きやすい執務空間 人や環境に 庁 配慮した庁舎 【地球環境に配慮した庁舎】 舎 ●省エネ、省資源、自然エネルギー利用 ●環境や自然への取り組みが学べる庁舎 環境 配慮 ●3 つの R*(Reduce, Reuse, Recycle)の実現 【景観形成や周辺環境への配慮】 歴史・文化を尊 ●市のアイデンティティの認識 重し、多世代を ●まちの景観形成や周辺環境への配慮 惹きつける庁舎 ●市のシンボルとなる庁舎

求められる役割

具体案

- ・ワンストップサービス
- ・明確な動線計画、サイン計画
- ・諸室のわかりやすい配置計画
- ・待合コーナー等の共有空間の効率性
- ・市民交流の場の提供(市民ホール、集会場、多目的広場、市民図書館、屋上庭園、食堂等)
- 議場の多機能性
- 交通の利便性
- 生活圏内での利便性
- ・市民への円滑な情報提供と共有化
- ・情報化に対応した設備環境の充実化
- ・働きやすい執務空間
- •一時避難場所、備蓄倉庫
- •防災本部、危機管理本部機能
- ボランティアの活動拠点
- 防災広場(駐車場の有効利用等)
- 耐震性能の高い構造
- ・災害時対応の設備機能
- 自然素材等の採用
- ・設備メンテナンスへの配慮
- ・夜間・休日の管理
- ・高齢者、障害者へのバリアフリー対策(段差、廊下幅、短い動線、エレベータ、誰でもト
- イレ、ローカウンター等)
- 分かりやすいサイン計画や色彩の採用
- 外国人への対応
- 省エネルギー対策
- 自然エネルギーの積極利用
- •緑化対策
- 街なみをリードする庁舎の実現
- ・安全で快適な来庁できるアクセス路の整備
- ・駐車場・駐輪場の整備と効率的な利用